



各 位

2026年2月5日

会社名 日本光電工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員  
Chief Executive Officer 萩野 博一  
(コード番号 6849 東証プライム)  
問合せ先 上席執行役員  
経営戦略統括部長 泉田 文男  
(TEL. 03-5996-8003)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当第3四半期連結累計期間の実績および最近の業績動向等を踏まえ、2025年11月10日に公表しました2026年3月期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2026年3月期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 240,000	百万円 24,000	百万円 24,000	百万円 12,500	円 銭 76.64
今回修正予想 (B)	235,000	20,000	22,000	12,500	76.98
増減額 (B-A)	△ 5,000	△ 4,000	△ 2,000	—	
増減率 (%)	△ 2.1	△ 16.7	△ 8.3	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	225,424	20,713	20,373	14,098	84.88

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、通期売上高は2,350億円（前回予想から50億円減）、国内売上高は1,444億円（同50億円減）、海外売上高は906億円（前回予想を据え置き）を見込んでいます。国内では、大学、官公立病院の予算執行が年度末に集中する傾向にありますが、病院経営の悪化に伴い、想定していたよりも予算の抑制や延期が見られます。また、AEDの代理店での在庫調整もあり、前回予想を下回る見通しです。当社としましては、引き続き消耗品・サービス事業の拡大に注力するとともに、医療の質向上と効率化に寄与する医療機器やITシステムの商談獲得に注力します。海外では、為替が前回の想定よりも円安基調にあるものの、北米において生体情報モニタの商談決定プロセスに慎重な動きが見られるほか、アジア州他を中心に法規制対応等に時間を要しています。引き続き、期末に向けた出荷・納品・設置に全社一丸となって取り組みます。

利益面では、全社収益改革の推進により販管費の伸びの抑制に注力するものの、売上高、売上高総利益率が前回予想を下回る見込みであることから、営業利益は200億円（同40億円減）となる見通しです。経常利益は、為替差益の計上により220億円（同20億円減）を見込んでいます。親会社株主に帰属する当期純利益は125億円（前回予想を据え置き）を見込んでいます。

第4四半期以降の為替レートは、154円／米ドル、184円／ユーロを前提としており、通期の為替レートは150円／米ドル、174円／ユーロとなる見込みです。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以上